

放課後児童対策について（こども支援部）

1 放課後児童対策の目的

全ての児童が放課後等を安全・安心して過ごし、多様な体験・活動を行うことができるような環境を整備することで、共働き家庭等の「小1の壁」を打破するとともに、次代を担う人材の育成に資すること。

2 放課後子ども総合プラン（厚生労働省・文部科学省共同策定）の概要

（1）趣旨・目的

放課後児童対策として、一体型を中心とした放課後児童クラブ及び放課後子供教室の計画的な整備等を進める。

（2）目標と市に求められている取り組み

①プランの目標

平成31年度末までに、全小学校区において、放課後児童クラブ、放課後子供教室を一体的、または連携して整備、実施する。

②市の取り組み

平成31年度末の目標事業量と小学校の余裕教室の活用に関する具体的な方策について行動計画を策定して取り組む。

（3）目標達成の方策

①学校施設を徹底活用した実施促進

②一体型の放課後児童クラブ及び放課後子供教室の実施

③放課後児童クラブ及び放課後子供教室の連携による実施

（4）運営及び協議体制

①運営委員会を設置し、教育委員会と福祉部局の連携を強化する。

②総合教育会議において、学校施設の活用を含めた総合的な放課後対策のあり方を協議する。

3 本市における放課後児童対策の課題

（1）行動計画の未整備

- ・放課後対策に関する統一的な取り組みが進んでいない。
- ・行動計画が策定されておらず、目標事業量等が明確になっていない。

（2）放課後児童クラブ（学童保育室）の待機児童対策

- ・利用希望者の増加により待機児童が増加している。
- ・施設の拡張及び支援員・補助員の増員が進まず、利用意向に応えられていない。

（3）放課後子ども教室の充実

- ・実施校区が限定的である。
- ・実施場所の確保方向が明確でなく、運営体制の整備についても困難が想定される。

4 今後の対応策

- ・子ども・子育て支援事業計画の見直しに合わせ、行動計画を策定する。（※原案は裏面）
- ・教育委員会と市長部局の間で学校施設等の活用に向けた基本方向を確認した上で、事業実施に向けた具体的な協議・調整を促進する。
- ・教育委員会と市長部局の連携により、プログラムの充実、人材の確保・育成に取り組む。

「放課後子ども総合プラン」に基づく入間市行動計画（原案）

1. 放課後児童クラブの平成31年度に達成されるべき目標事業量
 - ・量の見込みに基づく整備目標を設定し、確保に向けて取り組みます。
 - ※「入間市子ども・子育て支援事業計画」の中間見直しにおいて整理予定。
2. 放課後子供教室の平成31年度までの整備計画
 - ・入間市放課後子ども教室事業運営協議会の意見を踏まえ、全小学校区において整備することを目指します。
3. 一体型の放課後児童クラブ及び放課後子供教室の平成31年度までに達成されるべき目標事業量
 - ・平成31年度までに、13か所整備することを目指します。
4. 放課後児童クラブ及び放課後子供教室の一体的な、又は連携による実施に関する具体的な取組み
 - ・放課後児童クラブの支援員と放課後子供教室のコーディネーターは、共通プログラムにかかる定期的な打合せの場を設定するとともに、児童が安全・安心に共通プログラムに参加し、放課後児童クラブの利用ができるよう相互に連携・協力します。
 - ・放課後児童クラブと放課後子供教室はそれぞれの運営会議等への参加も含めた交流に努め、相互に資質の向上、意識の共有化を図ります。
5. 小学校の余裕教室等の放課後児童クラブ及び放課後子供教室への活用に関する具体的な取組み
 - ・小学校校長会等において放課後子ども総合プランの必要性、意義等にかかる理解を促進するとともに、学校施設の活用に関する具体的な事業計画を市と教育委員会において調整し、策定します。
 - ・余裕教室の活用及び特別教室、体育館、校庭、図書館の一時利用にかかる問題点等の解決に向けて、市と教育委員会は積極的に協力します。
6. 放課後児童クラブ及び放課後子供教室の実施に関する教育委員会と市（こども支援部局）との具体的な連携に関する取組み
 - ・放課後児童クラブ及び放課後子供教室の実施にあたっては、責任体制の明確化を図り、必要に応じて文書等による申し合わせを行いながら進めることとします。
 - ・総合的な放課後児童対策については、総合教育会議等において継続して協議・調整を図ります。
7. 地域の実情に応じた放課後児童クラブの開所時間の延長に係る取組み
 - ・放課後児童クラブの開所時間は、実態調査等により利用者ニーズを把握した上で方向性を検討し、必要な調整を進めていきます。
8. その他、放課後児童対策の推進に向けた取組み
 - ・市と教育委員会は、児童センター、青少年活動センター、公民館等の公共施設を活用し、放課後児童の学習活動、文化・教養に関する活動、交流活動を促進するための事業の実施に取り組みます。

※文中における「放課後児童クラブ」は、本市においては「学童保育室（放課後児童健全育成事業）」として、「放課後子供教室」は「放課後子ども教室」として展開します。